

日立金属スイッチングハブ

ApresiaLightGM シリーズ

Ver. 1.07.00

リリースノート

制定・改訂来歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2015年 6月 15日	新規制定

# Ver. 1.07.00 リリース情報(2015年6月)

## 機能修正について

このバージョンでは、以下の機能を追加・修正しております。

## ○ 機能追加

### APLGM-10700-RC001

内容 リンクアグリゲーション機能において、以下のログをサポートしました。詳細はログ・トラップ対応一覧を参照ください。

- ・ "Link aggregation Port <portNum> does not receive LACPDU normally."
- ・ "Link aggregation Port <portNum> recovers from LACPDU receiving abnormally state."
- ・ "Link aggregation Port <portNum> links down."
- ・ "Link aggregation Port <portNum> links up."

関連 -

### APLGM-10700-RC002

内容 リンクアグリゲーション機能において、以下のトラップをサポートしました。詳細はログ・トラップ対応一覧を参照ください。

- ・ "linkAggRecvLACPDUAbnormal (1.3.6.1.4.1.278.102.1.13.1.1)"
- ・ "linkAggRecoverFromAbnormal (1.3.6.1.4.1.278.102.1.13.1.2)"
- ・ "linkAggPortLinksDown (1.3.6.1.4.1.278.102.1.13.1.3)"
- ・ "linkAggPortLinksUp (1.3.6.1.4.1.278.102.1.13.1.4)"

関連 -

### APLGM-10700-RC003

内容 リンクアグリゲーション機能において、以下のコマンドをサポートしました。

(1) LACP 制御フレームの装置優先度設定コマンド

```
"config link_aggregation system_priority <value>"
```

(2) LACP 制御フレームのポート優先度設定コマンド

```
"config lacp_ports <portlist> port_priority <value>"
```

(3) LACP 制御フレームの受信タイムアウト設定コマンド

```
"config lacp_ports <portlist> lacp_timeout <short | long>"
```

関連 -

APLGM-10700-RC004

内容 show tech\_support 情報において、CPU 例外処理(CPU Exception)が発生した場合の取得情報を追加しました。

関連 -

## ○ 修正

APLGM-10700-RC005

現象 SSL 機能において、SSLv3 CBC モード利用時の脆弱性(POODLE)問題を対策しました。

関連 HCVU000000017 (CVE-2014-3566)

APLGM-10700-RC006

現象 SSL 機能において、BN\_sqr の BIGNUM 値によって保護機構の迂回を可能とする脆弱性問題を対策しました。

関連 HCVU000000019 (CVE-2014-3570)

APLGM-10700-RC007

現象 SSL 機能において、強度の低い暗号化や RSA キーを提供する可能性がある脆弱性問題を対策しました。

関連 HCVU000000019 (CVE-2014-0204)

APLGM-10700-RC008

現象 コマンド表示をファイル出力した場合、ファイルのテキストエディタ表示で改行コードが CR+LF とならない問題を修正しました。

関連 -

APLGM-10700-RC009

現象 PoE 対応機種 show tech\_support コマンド表示において、PoE ポート情報が重複表示される表示上の問題を修正しました。

関連 -

APLGM-10700-RC010

現象 SNMP MIB 取得において、LLDP 機能が有効でリモート装置からの管理アドレス情報が通知されている場合、LLDP のリモートポート情報を示す 11dpRemManAddrOID (1.0.8802.1.1.2.1.4.2.1.5)の取得に失敗する問題を修正しました。

関連 -

#### APLGM-10700-RC011

現象 MAC 認証または WEB 認証機能において、RADIUS サーバーからの Access-Accept 応答パケットに属性「Reply-Message」が含まれる場合、Reply-Message 定義の文字列と応答パケットの受信数によって装置再起動が発生する問題を修正しました。  
本問題は、認証エージング時間が短く設定されている場合など、認証回数の増加により発生頻度が高くなります。目安として Reply-Message 定義の文字列が 16 文字で約 27,000 回を超える応答パケットを受信すると発生します。

関連 -

#### APLGM-10700-RC012

現象 802.1x 認証機能において、認証ポートに直接サブリカントが接続されている場合、リンクアップ時にサブリカントの認証画面が 2 回表示される問題を修正しました。

関連 -

#### APLGM-10700-RC013

現象 ケーブル診断コマンド(cable\_diag)において、ケーブル未接続時の診断結果が Fail 表示される問題を修正しました。

関連 -

#### APLGM-10700-RC014

現象 ケーブル診断コマンド(cable\_diag)において、ファイバーポートを対象外とするよう修正しました。

関連 -

#### APLGM-10700-RC015

現象 ApresiaLightGM124GT-SS 及び ApresiaLightGM124GT-PoE において、コンボポート (21T~24T) のフロー制御を有効に設定した場合、リンクアップしない問題を修正しました。なお、修正前は設定保存後の再起動により事象は発生しません。

関連 -

#### APLGM-10700-RC016

現象 アクセス制御リスト(ACL)機能において、アクセスプロファイルの最大ルール数 256 まで設定できない問題を修正しました。なお、修正前の設定可能な最大ルール数は 255 です。

関連 -

APLGM-10700-RC017

現象      トラフィックセグメンテーション機能において、IP マルチキャストパケットが制限されない問題を修正しました。

関連      -

APLGM-10700-RC018

現象      IPv6 による SSH ログイン情報表示において、IPv6 アドレスが表示されない問題を修正しました。

関連      -

APLGM-10700-RC019

現象      SNMP 機能において、下記の OID で MIB 取得した場合にエラーメッセージがコンソール上に表示される問題を修正しました。

portUtilizationPortIndex (1.3.6.1.4.1.278.102.0.5.2.4.1.1.0)

portUtilizationPercentage (1.3.6.1.4.1.278.102.0.5.2.4.1.2.0)

関連      -

APLGM-10700-RC020

現象      802.1x 認証機能において、各認証ポートの配下に接続された HUB 間で端末を移動した場合、認証テーブルが更新されず、認証を繰り返す問題を修正しました。

関連      -

APLGM-10700-RC021

現象      リンクアグリゲーション(LACP)機能において、装置起動時に LACP ネゴシエーションが確立されるまでの数秒間、受信パケットをフラッティングする問題を修正しました。

関連      -

## ○ 注意事項

APLGM-10500-NT001

- 対象 ApresiaLightGM110GT-PoE 及び ApresiaLightGM124GT-PoE において、  
Ver. 1.04.00 から Ver. 1.05.00 以降にバージョン変更される方  
Ver. 1.05.00 以降から Ver. 1.04.00 にバージョン変更される方
- 対応 ファームウェア更新後の初回起動時、PoE Controller アップデートのため起動時間が通常より『約 10 分』ほど長くなります。起動が完了するまで装置電源を切らないで下さい。

[ 起動画面例 ]

Boot Procedure V1.00.01

---

Power On Self Test ..... 100 %  
MAC Address : 00-40-66-58-B5-2C  
Please Wait, Loading V1.05.00 Runtime Image ..... 100 %

ここから、PoE Controller アップデートの開始

¥

Clear firmware for poe controller..... OK  
Reboot POE chip..... OK  
Wait POE chip enter BOOTROM mode..... OK  
Update firmware for poe controller..... OK  
Save firmware for poe controller..... OK

ここまで、PoE Controller アップデートの終了

以下表示で、装置起動の完了

Press any key to login...

◆適応機種一覧

バージョン	対象機器
1.00.01	ApresiaLightGM124GT-SS
1.01.00	ApresiaLightGM118GT-SS
1.02.00	ApresiaLightGM110GT-SS
1.03.00	
1.03.01	
1.04.00	ApresiaLightGM124GT-SS
1.05.00	ApresiaLightGM118GT-SS
1.05.01	ApresiaLightGM110GT-SS
1.06.00	ApresiaLightGM124GT-PoE
1.07.00	ApresiaLightGM110GT-PoE

◆輸出する際のご注意

本製品や本資料を輸出または再輸出する際には、日本国ならびに輸出先に適用される法令、規制に従い必要な手続きをお取りください。

ご不明な点がございましたら、販売店または当社の営業担当にお問い合わせください。

◆商標一覧

Apresia は、日立金属株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。